

オープン理科教室

8月23日（土）、足利市生涯学習センターで、第4回、オープン理科教室が行われました。過去3回は、足利高校の理科教室に小学生・中学生を招いて実施してきましたが、今回は初の試みとして、足利高校から外へ飛び出してオープン理科教室を行いました。足利市内の小学5・6年生80人が10種類の実験プログラムに挑戦しました。科学部各班の生徒21名、ボランティアの生徒17名が小学生を相手に、ていねいに実験の仕方を教えてくれました。

万華鏡

偏光フィルムとセロハンテープを利用して万華鏡をつく



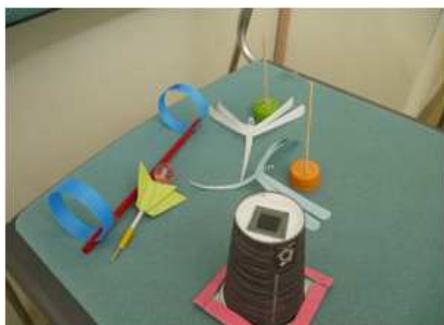
りました。色のついていない材料を使っているのに様々な色がついて見えるのが不思議です。

スーパーボールロケット

スーパーボールを落下させると勢いよくロケットが飛び出し、子どもたちはとてもびっくりしていました。落下させたとき、ロケットは飛ぶのに、スーパーボールが跳ねないのはなぜでしょう。

ダブルリングひこうき

段ボールの梱包に使われるPPバンドとストローでつくる飛行機です。翼がないのに飛ぶのが不思議です。どこまで飛ぶか競争していました。



バランスとんぼ

羽を広げたとんぼが、口の先だけで棒の先端にとまることができます。これでバランスがとれるとは不思議です。



ソーラークッキング

太陽の光でお湯を沸かしました。天気は曇りでしたが、雲間からの太陽光を集めて、お湯を沸かし、紅茶を飲むことができました



テンセグリティ

割り箸を使った球体です。割り箸どうしは接着しておらず輪ゴムで引っ張られているのですが、これで立体的な形がくずれないので不思議です。



スライムづくり

色をつけたカラフルなスライムができました。不思議な感触で子どもたちに大人気でした。



ミクロの世界（顕微鏡）

光学顕微鏡と実体顕微鏡の2種類を用意し、観察した結果は写真にして持ち帰りました。指紋を拡大して見たところ、汗を出す腺まで見えました。



光る生きもの（ウミホタル）

ウミホタルの発光を観察しました。科学部員のていねいな説明もよかったです。



ミジンコのペーパークラフト

ミジンコの立体模型をつくりました。実は眼の数は1つなのです。



参加した小学生たちからは、足利高校の生徒はやさしく説明がわかりやすかったという声が聞かれました。